



2020年11月期 決算補足説明資料

2021年1月13日

MITホールディングス株式会社

(証券コード:4016)

目次

1. 会社概要
2. 2020年11月期 決算概要
3. 2021年11月期 業績見通し

1. 会社概要



人々の生活を豊かにするライフサポーターグループ

当社グループが提供するIT製品・サービスは、**多くの便利を、多くの人の1日へお届け致します**



医療



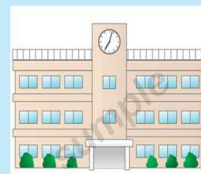
電気・ガス



公共
(中央省庁、自治体)



金融



公共
(中央省庁、自治体)



通信



会議



情報配信



設計業務



ドローンレクチャー



出社
顔認証



退社
顔認証

9:00am

18:00pm

会社概要

企業名	MITホールディングス株式会社	
設立	2009年12月	
※創立	1990年 1月(株式会社システムイオを設立)	
所在地	千葉県美浜区	
役員	代表取締役	鈴木 浩
	取締役	増田 典久 (株)ビーガル代表取締役)
		中森 将雄 (株)NetValue代表取締役)
		野山 真二 (株)システムイオ代表取締役)
		三方 英治 (財務担当取締役)
	社外取締役	池津 学 (弁護士)
	常勤監査役	沼倉 巧和
	社外監査役	東園 直樹
		山西 啓司
	執行役員	宇井 正人
		桑原 智成 (Vision Links Myanmar Co.,Ltd.代表取締役)

グループ概要

MITホールディングス
Most Impressive Technology

企業価値向上に貢献する
Vitalize Company Group

SYSTEM JO

東日本発信の
システムインテグレータ

NetValue

西日本発信の
システムインテグレータ

BIGAL
BUILD INNOVATION GATE OF LEGEND

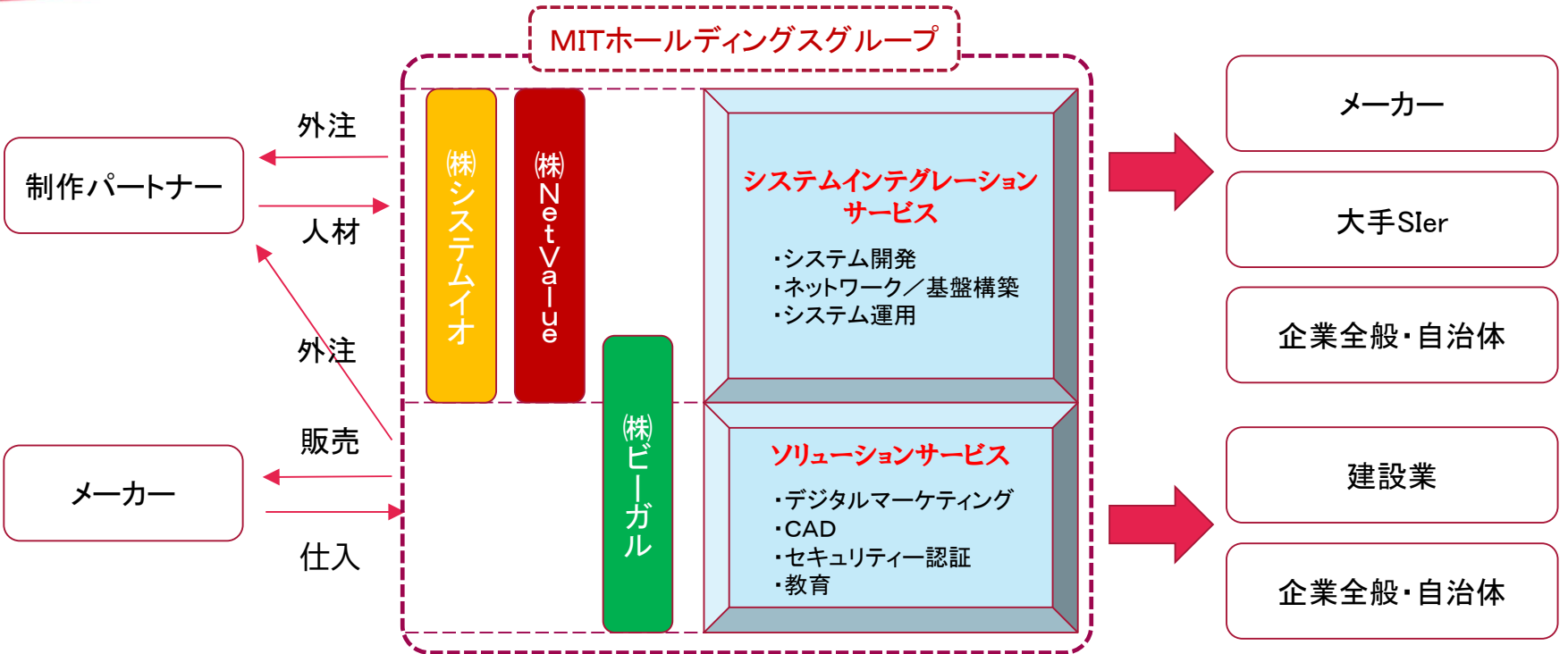
業界にとらわれない
メーカー系IT サービスビルダー

Vision Links Myanmar

ICT を通じて日本と
ミャンマーの未来に貢献する企業

社会にビタミンを提供する知的アスリート集団。それがMITホールディングスグループです。

事業会社紹介(事業内容・主要サービス)



システムインテグレーションサービス (株)システムイオ・(株)NetValue

★システムインテグレーションサービス★ 設計～ハードを含めた保守運用まで

企業の業務を遂行するのに必要なソフトウェアシステムの開発から導入・運用保守までを行っています。
社会インフラ系基幹システム開発及び、ネットワーク基盤構築の受注を柱にしており、安定した受注の確保を実現しています。

★顧客の主な業種★

社会生活に密着したインフラを中心とした開発



公共

(中央省庁、自治体、年金)



通信

(携帯キャリア)



金融

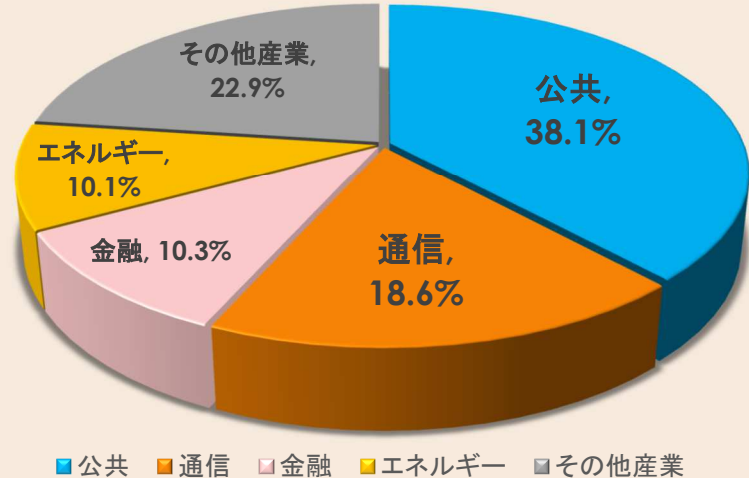
(銀行、クレジット、保険)



エネルギー

(電力系、ガス系)

業種割合 2020年11月期実績
(システムイオ+NetValue)



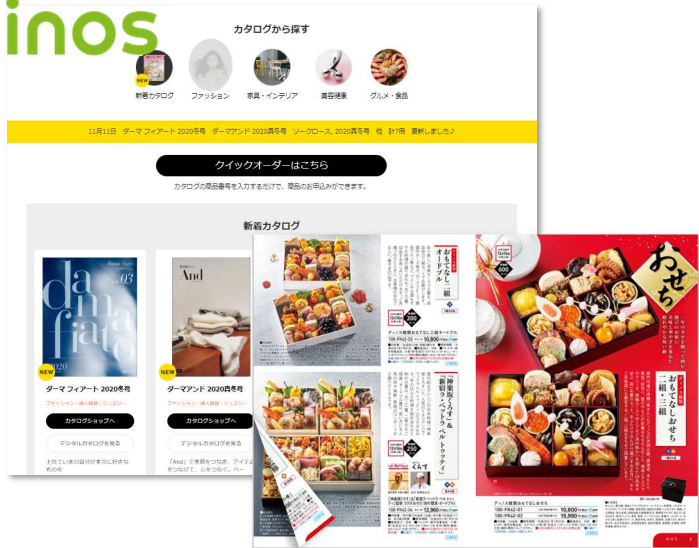
ソリューション① ・デジタルマーケティング・ (株)ビーガル



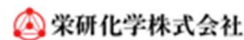
当社が開発・販売する WISE BOOK は、誰でも簡単にデジタルブックが制作・配信できるサービスです。

★導入事例：通販カタログからECショッピングサイト連携

dinos



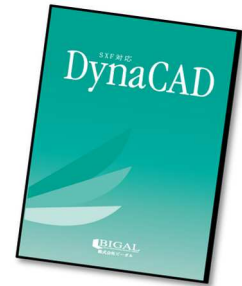
★導入企業例(抜粋)



ソリューション② ・CADソリューション・ (株)ビーガル



おかげさまで
発売 30 周年
これまでも、そしてこれからも
皆様とともに



★提供している製品サービス

DynaCAD官公庁版Plus

DynaCAD土木Plus

DynaCAD電気

DynaCAD

3D VIEWER

3DCAD (『DynaCAD CUBE』/開発中)

図面電子化『B@図』

他、関連書籍・電子納品ソフト・施設管理ソフト

・導入実績(出荷実績・顧客実績)

◆ 累計販売本数

12万ライセンス超

◆ 11県で全庁採用

◆ 200以上の自治体導入



図面トレース風景(ミャンマー)

ソリューション③ ・ 認証ソリューション・ (株)ビーガル

■ 海外顔認証製品機器の輸入販売・サービス

- ・入退管理
- ・共連れ防止
- ・ICカード発行

< 認証ソリューションの特徴 >

- (1) 10年を超える3D認証機器取り扱いの実績
当社は、その黎明期より3D認証機器を輸入・販売しており、**蓄積された運用ノウハウ**を保有
- (2) 高コストパフォーマンスデバイス製品の販売実績
・高機能・低コスト**(業界トップレベル)**
・**全国カバー**のサポートサービス
- (3) 製品ラインナップの充実
同一機能製品を価格帯に分けて取り揃え**多様な顧客ニーズ提案**を実現
- (4) 自社開発によるクラウドサービス
デバイス連携システムの自社開発。クラウドサービス提供で**ストック型ビジネスモデル**をプラスし収益拡大



FaceGo

シリーズ最高のスペックで未来への形をお届けします

- ▶ 認証スピードを大幅短縮 1秒以下を実現
 - *1 認証時 認証速度: 約1秒以下
- ▶ 非常に高い認証精度
 - *2 本人成功率: AFD:40.00%, 本人成功率(FRR):1.9%
- ▶ 顔認証登録
 - *3 2,000人(標準スペック)
 - 4,000人(オプション)
- ▶ ユーザーの登録・管理が分かりやすい
 - *4 端末へのユーザー登録時に写真の追加が可能

▶ 1~20,000Lux対応で暗所でも明所でも認識
*5 非接触センサーを使用し、顔に0.01mmの隙間でも認識可能
▶ 独自の開発の改良型センサーに搭載、高画質映写
*6 映像化した生体データを独自の3D化技術
*7 (DualSensor TM V2.6 & V3.1) で顔認証を行う

※顔認証は一定確率の誤り・形を捉えずに誤る事象を発生しています。

IGAL

3D 顔認証
VISION ACCESS
MORPHO 3D FACE READERTM
安全でスムーズな顔認証アクセスコントロール

- リアルタイム 3Dイメージテクノロジー
- ハンズフリーアクセスコントロール
- 認証時間は1秒以内
- 赤外線センサーで暗がりでも正確に認証
- 顔の向きや動きにも対応

IGAL

IDEMIA

Broadway 3D
次世代生体認証
**赤外線 3D
顔認証システム**
フォーカスルー顔認証

- 【特長その1】**高精度認証**
顔の輪郭を高精度の3Dポイントで検知し、従来の顔認識方式との違いにより、わずかなしりあいを検知
- 【特長その2】**顔認証**
フォーカスルー顔認証は認証スピードが速く、認証時間約1秒以下で、顔の向きや動きに合わせた顔認識スピードが速く、認証時間約1秒以下
- 【特長その3】**ハンズフリー認証**
手を触れず認証可能。完全非接触なので衛生的
- 【特長その4】**赤外線顔認証**
顔の輪郭を高精度で検知し、従来の顔認識方式との違いにより、わずかなしりあいを検知

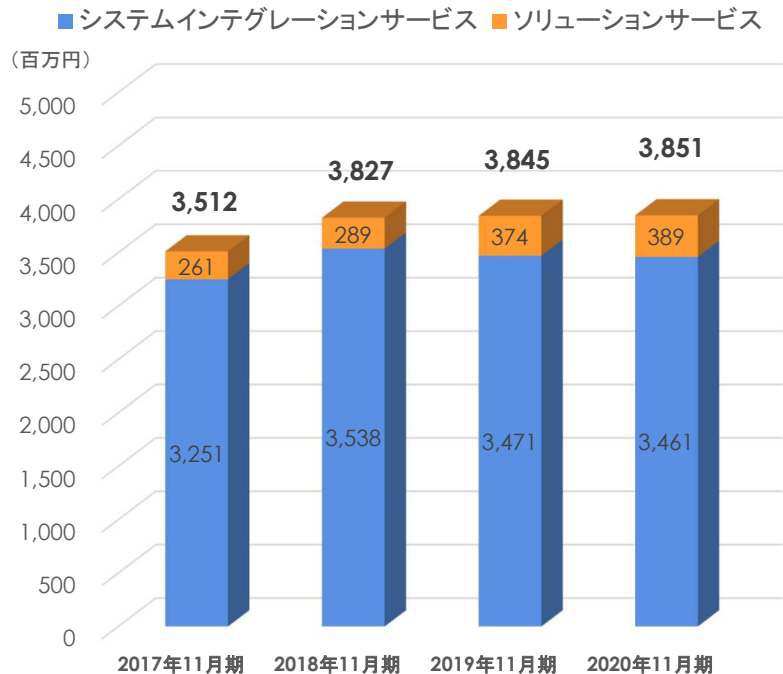
IGAL

3. 2020年11月期 決算概要

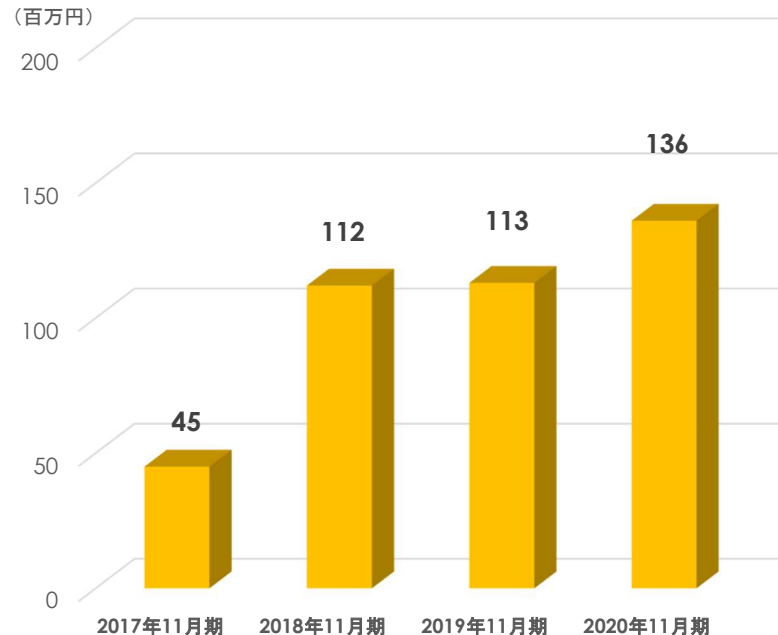


業績推移

連結売上高



連結経常利益



2020年11月期 決算概要(前年同期比)

	2019年11月期		2020年11月期		前年同期比	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	増減率
売上高	3,845,187	100.0%	3,851,067	100.0%	+5,879	+0.2%
・システムインテグレーション売上高	3,470,770	90.3%	3,461,938	89.9%	▲8,832	▲0.3%
・ソリューション売上高	374,416	9.7%	389,129	10.1%	+14,712	+3.9%
売上原価	3,032,608	78.9%	2,965,821	77.0%	▲66,786	▲2.2%
売上総利益	812,579	21.1%	885,246	23.0%	+72,666	+8.9%
販管費及び一般管理費	692,310	18.0%	749,297	19.5%	+56,986	+8.2%
営業利益	120,268	3.1%	135,948	3.5%	+15,679	+13.0%
経常利益	113,128	2.9%	136,806	3.6%	+23,678	+20.9%
税金等調整前当期純利益	102,667	2.7%	130,955	3.4%	+28,287	+27.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	60,459	1.6%	79,874	2.1%	+19,415	+32.1%

2020年11月期 システムインテグレーション売上高(前年同期比)

	2019年11月期		2020年11月期		前年同期比	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	増減率
システムインテグレーション売上高	3,470,770	90.3%	3,461,938	89.9%	▲8,832	▲0.3%

■ システムインテグレーションサービス

2020年3月までは見込んでいた案件が予定どおり遂行され、前期比で増収を維持しておりましたが、4月以降は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響を受けております。当期においては、公共・通信系システムの受注は堅調に維持できましたが、4月以降にその他の社会インフラ系のシステム開発案件の凍結、延伸が発生し、新規案件の受注が減少しました。

一方、直接取引となるエンドユーザの新規開拓に注力し、中小規模事業者向けシステム開発案件の受注が増加しましたが、社会インフラ系の売上減少の影響が大きく、売上高は3,461,938千円(前年同期比0.3%減)となりました。

2020年11月期 ソリューション売上高(前年同期比)

	2019年11月期		2020年11月期		前年同期比	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	増減率
ソリューション売上高	374,416	9.7%	389,129	10.1%	+14,712	+3.9%
デジタルマーケティングサービス	101,062	2.6%	125,810	3.3%	+24,748	+24.5%
CADソリューションサービス	196,235	5.1%	183,990	4.8%	▲12,244	▲6.2%
認証ソリューションサービス	48,387	1.3%	64,299	1.7%	+15,911	+32.9%
その他ソリューションサービス	28,731	0.7%	15,028	0.4%	▲13,702	▲47.7%

■ ソリューションサービス

- ・ デジタルマーケティング (Wisebook) サービス

リモートワークの拡大や働き方の変化により、研修システムサービスやWEBアーカイブシステムサービスとしてのWisebook-LS (プライベートサーバー) 大型案件が増加しました。また、提携企業とのレベニューシェアによるサービス開始により、ストックビジネス拡大による売上が増加したことにより、売上高は125,810千円(前年同期比24.5%増)となりました。

2020年11月期 ソリューション売上高(前年同期比)

- ・CADソリューションサービス

保守サービスや図面電子化サービスが順調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による全国的な営業活動の停滞、対面型CAD研修会の延期や中止、企業・自治体の予算の凍結・未執行の増加等により、CADの新規販売や研修会の受注が減少し、売上高は183,990千円（前年同期比6.2%減）となりました。

- ・認証ソリューションサービス

近年の認証市場の拡大に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、検温によるスクリーニングのニーズが拡大し、検温機能付きカメラ、検温機能付き認証デバイスの受注拡大につながり、売上高は64,299千円（前年同期比32.9%増）となりました。

- ・その他ソリューションサービス

2020年9月をもって、高齢者向けパソコン教室を閉校したことにより、売上高は15,028千円（前年同期比47.7%減）となりました。

2020年11月期 売上総利益(前年同期比)

	2019年11月期		2020年11月期		前年同期比	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	増減率
売上原価	3,032,608	78.9%	2,965,821	77.0%	▲66,786	▲2.2%
売上総利益	812,579	21.1%	885,246	23.0%	+72,666	+8.9%

■ 売上原価及び売上総利益

新型コロナウイルス感染症の影響により、4月以降の増員計画が先送りになるなど全体工数は横ばいとなった他、前期はソリューションサービスにおける福祉製品（視覚障害者向け紙幣識別機）に係るたな卸資産評価損の計上を行いました。当期は発生しないことなどから、売上原価は2,965,821千円（前年同期比2.2%減）となりました。

また、システムインテグレーション業界における技術者不足の状況の中、主要顧客からの受注が維持できたことで、より利益率の高い案件へ技術者をシフトするなど、技術者の適切な要員配置及び、既存案件における実績評価で当社及びパートナー技術者の受注単価アップを実現し、売上総利益は885,246千円（前年同期比8.9%増）となりました。

2020年11月期 営業利益(前年同期比)

	2019年11月期		2020年11月期		前年同期比	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	増減率
販売費及び一般管理費	692,310	18.0%	749,297	19.5%	+56,986	+8.2%
営業利益	120,268	3.1%	135,948	3.5%	+15,679	+13.0%

■ 販売費及び一般管理費、営業利益

当社グループの販売費及び一般管理費は、人件費、賃借料、支払手数料が概ね8割を占めております。

管理体制の強化及び営業体制の強化に注力するため、間接人員の増員を行ったことによる人件費の増加や上場関連費用の増加等による支払手数料の増加により、販売費及び一般管理費は749,297千円(前年同期比8.2%増)となり、営業利益は135,948千円(前年同期比13.0%増)となりました。

2020年11月期 経常利益(前年同期比)

	2019年11月期		2020年11月期		前年同期比	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	増減率
営業外収益	4,753	0.1%	7,628	0.2%	+2,875	+60.5%
営業外費用	11,893	0.3%	6,770	0.2%	▲5,123	▲43.1%
経常利益	113,128	2.9%	136,806	3.6%	+23,678	+20.9%

■ 営業外収益・費用、経常利益

営業外収益は、人材開発支援助成金及び新型コロナウイルスに関連した雇用調整助成金による収入が増加したことにより7,628千円（前年同期比60.5%増）となりました。

営業外費用は、金融機関からの借入金等に係る支払利息が大半を占めております。前期は千葉銀行とのコミットメントライン契約手数料が発生いたしましたが、当期は同様の費用の発生はなく、支払利息も減少したことから営業外費用は6,770千円（前年同期比43.1%減）となりました。

以上の結果、経常利益は136,806千円（前年同期比20.9%増）となりました。

2020年11月期 親会社株主に帰属する当期純利益(前年同期比)

	2019年11月期		2020年11月期		前年同期比	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	増減率
特別利益	2,000	0.1%	—	—	▲2,000	—
特別損失	12,460	0.3%	5,851	0.2%	▲6,608	▲53.0%
税金等調整前当期純利益	102,667	2.7%	130,955	3.4%	+28,287	+27.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	60,459	1.6%	79,874	2.1%	+19,415	+32.1%

■ 特別利益・損失、親会社株主に帰属する当期純利益

2020年11月期において、関係会社株式評価損の特別損失5,851千円を計上いたしました。

当該関係会社株式は非連結子会社であるVision Links Myanmar Co., Ltd.の1社であり、新型コロナウイルス感染症の影響でミャンマー政府による入国制限や各種国内制限措置が取られる中、システム開発案件の中断及び新規案件の受注が停滞したことで大幅な売上、利益の減少となり、同社株式の実質的価値が著しく減少したため、株式簿価の全額を減額したものです。

以上の結果、税金等調整前当期純利益に法人税等を差し引いた親会社株主に帰属する当期純利益は、79,874千円(前年同期比32.1%増)となりました。

株主還元(配当)

■ 配当政策

当社の利益配分につきましては、業績の推移を見据え、将来の事業の発展と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績や配当性向等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を維持することを基本方針としております。

■ 2020年11月期配当

当社は、2020年11月25日に東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) 市場に新規上場いたしました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係者各位のご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様にご感謝の意を表すため、1株当たり2円の記念配当を実施させて頂くことといたしました。この結果、2020年11月期の1株当たりの期末配当金は、普通配当5円とあわせて、7円となる予定です。なお、本件は2021年2月開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

4. 2021年11月期 業績見通し



2021年11月期の業績見通し

	2020年11月期（実績）		2021年11月期（予想）		前年同期比	
	金額（千円）	構成比	金額（千円）	構成比	金額（千円）	増減率
売上高	3,851,067	100.0%	4,150,000	100.0%	+298,932	+7.8%
・システムインテグレーション売上高	3,461,938	89.9%	3,652,000	88.0%	+190,061	+5.5%
・ソリューション売上高	389,129	10.1%	498,000	12.0%	+108,870	+28.0%
内) デジタルマーケティングサービス	125,810	3.3%	200,000	4.8%	+74,189	+59.0%
CADソリューションサービス	183,990	4.8%	215,000	5.2%	+31,009	+16.9%
認証ソリューションサービス	64,299	1.7%	70,000	1.7%	+5,700	+8.9%
その他ソリューションサービス	15,028	0.4%	13,000	0.3%	▲2,028	▲13.5%
営業利益	135,948	3.5%	144,184	3.5%	+8,236	+6.1%
経常利益	136,806	3.6%	140,000	3.4%	+3,193	+2.3%
税金等調整前当期純利益	130,955	3.4%	140,000	3.4%	+9,044	+6.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	79,874	2.1%	87,850	2.1%	+7,975	+10.0%

成長戦略

確実な成長に向けた戦略スローガン “プロズテック”



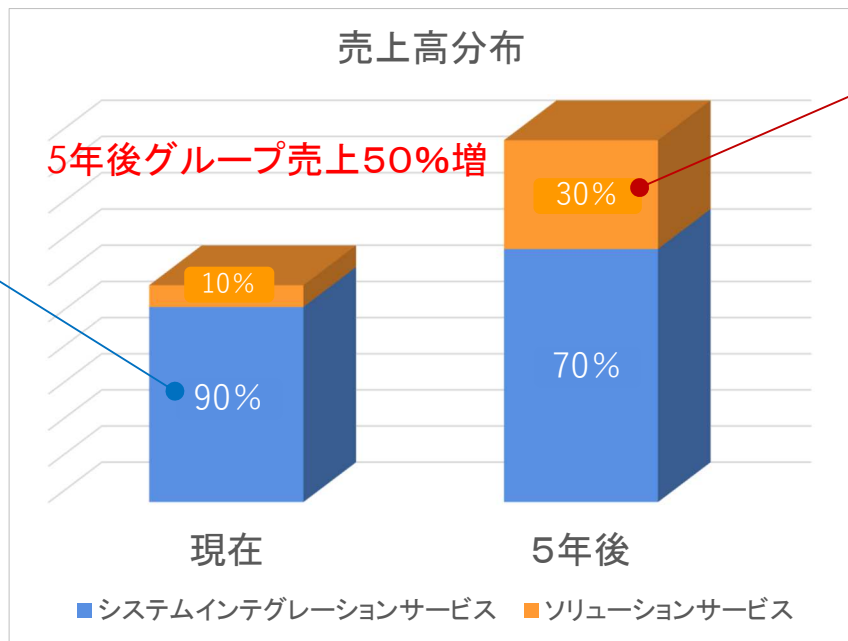
- 収益力 — Profit — 本当の収益体質へ変換
- 営業力 — Sales — 20年先を戦える
- 技術力 — Technology — 戦える技術集団
- 品質力 — Quality — 稼げるトータル品質

世界と戦える一流の知的アスリート集団

グループ経営戦略

安定的な成長、経営基盤

戦略的な拡大成長、高収益事業



■ システムインテグレーションサービス

【得意分野】

- ・大規模インフラ開発
- ・エネルギー関連
- ・通信キャリア

【戦略項目】

- ・人材確保
- ・オフショア・ニアショア
- ・中小事業者向けDX推進

■ ソリューションサービス

【主な製品・サービス】

- ・DynaCADシリーズ(ソフトウェア)
- ・Wisebook(クラウド・ライブラリサーバ)
- ・認証セキュリティサービス

【戦略項目】

- ・SaaS型クラウドサービス推進強化
- ・ストックビジネスの推進
- ・サービスの多様化
- ・グローバル展開

サステイナブルな成長に向けて バランスの取れた高い成長性を確保していきます

着実に質の高い成長(成長が次の成長に繋がる)
SI・ネットワーク基盤構築
安定的な拡大成長

融合

開拓精神を持ったチャレンジングな成長
CAD・クラウド・セキュリティ・電子カタログ
高収益体質への変革

デジタルマーケティング
『Wisebook』

CADソリューション
『DynaCAD CUBE(3D)』

認証ソリューション
『3D顔認証』他

ソリューション売上比率30%へ

システムインテグレーションサービス

現在

本資料に関する取扱い

■ 免責事項

本資料に記載した内容等は、資料作成時における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。

また、業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる将来情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

投資を行う際には、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

■ 本資料に関するお問い合わせ先

MITホールディングス株式会社 IR担当

TEL : 043-239-7252

E-Mail : ir@mit-hd.co.jp